

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(文化振興局)
	27011	西野公園運動施設改修事業	室名	文化スポーツ室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	会計	01:一般会計
	基本施策	02:スポーツの推進	款	10:教育費
	施策の方向	03:スポーツ環境の整備	科目	06:保健体育費
	戦略プロジェクト	-	目	02:体育施設費
事業予定期間	H 27 ~ H 33 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市運動施設等条例、亀山市スポーツ推進計画(改訂版)	

② 目的・概要	対象	運動施設利用者
	目的	三重県で開催が予定されている、平成30年度の全国高校総体及び平成33年度の国民体育大会に向けて、西野公園運動施設の改修を行うことで、円滑な大会運営ができるような施設整備に努めるとともに、利用者の利便性の向上を図る。
概要	西野公園体育館アリーナの空調設備整備事業として、平成28年度に設計業務、平成29年度に整備工事等を行い、市民が快適にスポーツに取り組めるよう運動施設の整備を進める。	

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	事業の計画	・西野公園体育館空調設備整備工事 (設計業務)				
		事業費	7,500千円			
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	0千円	7,500千円		
		事業費		1,188千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
地方債						
その他						
一般財源	0千円	1,188千円				
期間内総事業費(H27・H28)①		7,500千円	期間外事業費(H29以降)②	225,600千円	総事業費 (①+②)	233,100千円

			平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
④ 指標	①	名称	西野公園体育館空調設備整備事業 進捗率			
		補足	実施済み事業費/総事業費	活動	計画値	5
				単位		%
	②	名称		計画値		
		補足		単位		
	③	名称		計画値		
		補足		単位		
	④	名称		計画値		
補足			単位			

# 事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(文化振興局)
	27011	西野公園運動施設改修事業	室名	文化スポーツ室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計 01:一般会計
	基本施策	02:スポーツの推進	務	款 10:教育費
施策の方向	03:スポーツ環境の整備	科	項 06:保健体育費	
	戦略プロジェクト	-	目	目 02:体育施設費

② 目的・概要	対象	運動施設利用者
	目的	三重県で開催が予定されている、平成30年度の全国高校総体及び平成33年度の国民体育大会に向けて、西野公園運動施設の改修を行うことで、円滑な大会運営ができるような施設整備に努めるとともに、利用者の利便性の向上を図る。
概要	西野公園体育館アリーナの空調設備整備事業として、平成28年度に設計業務、平成29年度に整備工事等を行い、市民が快適にスポーツに取り組めるよう運動施設の整備を進める。	

		27年度	28年度
①	名称	西野公園体育館空調設備整備事業 進捗率	計画値
	補足	実施済み事業費/総事業費	実績値
			単位
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績					
・西野公園体育館空調設備整備工事 (設計業務)				・西野公園体育館空調設備工事設計業務委託					
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,465	平均給与額×③	
		国庫支出金		0		一般職員人件費 ②	1,465		
		県支出金		0		所要人員 ③	0.20		
		地方債		0		臨時職員人件費 ④	0		
		その他		0		受益者負担額 ⑤		受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥	
		一般財源	7,500	1,188	1,188				
		再掲	翌年度への繰越額						
			前年度からの繰越額		0				
			総人件費		①	1,465			
			総コスト		⑥	2,653			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成30年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会等の開催に向けた会場設備の整備の一環でもある空調設備整備について、平成29年度の同設備工事に向け、効率のよい空調設備を検討しつつ、設計業務委託が完了し、次年度の設備導入工事に向けた準備が進められた。	総合判定
			<b>B</b>
			まずは進んだ
	【反省点・課題】	全国高校総体及び国民体育大会の開催に向け、円滑な運営等ができるような施設整備を進めるとともに、開催を契機とした利用者の利便性向上を図るための改修等を行う必要がある。	
	【改善の方向性】	指定管理者との連携により改修が必要な箇所を確認し、安全確保や利用状況などから優先順位をつけ、計画的に施設整備を進めていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 文化スポーツ室長 小林 恵太